

全施連ニュース

（第24号）

発行者
一般社団法人
全国知的障害者施設家族会連合会
理事長 福間 廣明
編集：全施連広報部
〒650-0016
神戸市中央区橘通3丁目4-1
神戸市立総合福祉センター内

2024年度事業計画を進めるにあたって ～ 組織事情に応じた活動で ～

全国知的障害者施設家族会連合会 理事長 福間 廣明

2024年度の事業計画を承認いただき新しい体制での活動がスタートして
から半年が経とうとしています。各道県連の皆様には、それぞれの立場でご努力
いただいております。

全施連では、今年度最初の活動として理事全員による話し合いでスタートし
ました。これまでの活動を振り返り、今何をすべきかなどを話し合いました。
これまでは、提案された議題を協議したことはありましたが、フリーの立場で議論
したことはなかったと思います。定款の上では、理事の皆さんは社員総会に提案する提案権なら
びに承認後の業務執行を行う責任者であります。いろいろな課題を話し合うことは有意義なこと
でありました。話し合いの中で出された内容については、各道県連の活動に取り入れてもらい、
行政機関等との意見交換会などで活用していただきたいと思います。全施連としましても、課題
として整理し活動の中の取り入れたいと考えています。



次に、今年度の活動の一つに組織強化があります。

現在16の道県連によって組織されていますが、これ以外の都道府県連の組織状況がわからない
のが実情であります。都道府県連組織が結成されていない県もあると聞いております。活動
を行う上で組織は強化していかなければなりませんので、実情を把握するとともに、定款に定める
加入条件の改正にも踏み込んで都道府県連（家族会）の一つでも加入していただき組織の充実を
果たしていかなければと思っております。

活動していくうえで必要なことは、各道県連が全施連の掲げる活動内容に対して共通の認識を
持つことでもあります。しかしながら、16の道県連の組織事情には大きな違いがあります。一概
に一律に扱うことには無理があると考えています。活動は統一して進めていかなければなりませ
んが、道県連の想いを尊重しながら、現実的な活動の在り方も考えながら進めていかなければ
と思っております。

承認いただきました活動項目は、広報活動、友誼団体との連携などがあります。活動の内容に
よっては、全施連が直接行うものと、各道県連で取り組んでいただくものに分かれています。全
施連が直接行う活動につきましては、常任委員会の各専門部で分担するとともに、理事の皆さん
の協力を得ながら進めたいと考えています。道県連にお願いしたい活動については、実情に応じ
て取り組んでいただき、少しでも私たちの願いである知的障がい者の福祉向上につながることを
願っています。

意見交換会で出された課題は、組織内の課題が多く出されたところですが、一方、私たちが
取り巻く状況は、施設職員が集まらない、定着率が低い、さらには虐待が引き続き発生している
など、多くの問題があります。私たちは、これらの課題に向けて取り組んでいかなければなりませ
ん。出来るところを出来るかぎり進めていきたいと考えています。皆様のご協力をよろしく
お願いします。

2024年度 全施連 社員総会開催

本年度は、2024年6月26日（水）神戸市中央区の神戸市立総合福祉センターにおいて、16道県連の理事、監事及び代議員等が出席し、社員総会が開催されました。

開会前に由岐透前理事長へ永年の全施連への貢献に感謝の意を込めて、福間廣明理事長から感謝の言葉に添えて花束の贈呈が行われました。

前理事長の由岐氏から「家庭の事情で身を引くこととなりました。皆様方に支えていただいたお陰で全施連の活動や全国大会等が開催できました。これからは福間新理事長のもとで全社員が一致団結し、知的障がい者の幸せを求めて頑張ってもらいたい。ありがとうございました。」とのお礼の言葉をいただきました。

引き続き理事会・社員総会に入り、福間理事長より、「私が理事長に就任して5ヶ月、2024年度が始まって3ヶ月が経ちます。全施連が一丸となって活動していくため、昨年度の事業を振り返り今年度の事業計画について、皆さんで十分検討していただきたいと思います」と挨拶されました。

事務局より会の成立報告があり（議決権総数 16 出席(会場、Zoom) 13 議決権行使書提出 2 欠席 1 定款第34条により理事会が、同じく定款第17条により社員総会が、それぞれ成立）、議長に福間理事長が選任され、審議が開始されました。

第1号議案 2023年度事業報告に関する件について

第2号議案 2023年度会計決算報告・監査報告に関する件について

の提案に、中村副理事長及び上田事務局職員からの説明、川畑監事の監査報告に基づき

- ①全施連の存在感を高めるため、国会議員との連携を図る必要がある。
- ②全施連に加盟する都道府県を増やすべきである。

などの意見があり、審議の結果、承認されました。

第3号議案 2024年度事業計画（案）に関する件について

第4号議案 2024年度会計予算（案）に関する件について

の提案に、大矢副理事長及び上田事務局職員からの説明に基づき

- ①2024年度の事業計画をやり始めてどうなるか、まずは見てみたい。
- ②コロナ禍などで退会する家族会があり、県連の体力が落ちている。立派な事業計画であるが体力がなければ難しい。
- ③後継者がいなくて困っている。全施連の魅力をどうアピールするかだ。
- ④全施連ニュースの発行、ホームページの更新が必要である。
- ⑤福祉協会との関係が上手くいっている、っていない。
- ⑥12月の障がい者週間の取組として小賀久先生の講演を予定している。他の団体にも声掛けしている。
- ⑦令和7年4月には、各施設に「地域連携推進会議」の設置が必置となる。全施連の事業計画に中・長期的な視点が欲しい、攻めの姿勢も必要だ。
- ⑧事業計画に施設職員の確保を追加してほしい。

などの意見があり、福間理事長及び大矢・中村副理事長から

- ・「全施連ニュースを年2回発行したい。素材の提供をお願いする。
- ・12月に小賀先生の予定が取れるのであれば、地域共生ホームの研修会はできないか検討したい。
- ・都道府県の家族会連合会の連合組織が全施連である。各道県連でできないことは、全国組織である全施連でできるのではないか。
- ・全施連が行う統一しての取組以外は道県連活動の自主性を尊重している。
- ・施設職員の確保については、事業計画の中に追加する。

などの答弁があり、審議の結果、承認されました。

第5号議案 理事の選任及び解任に関する件については、全会一致で承認されました。



その他、報告事項については、

- ① 能登半島地震災害義援金について
- ② 日本障害者協議会（JD）総会について
- ③ 衆議院議員亀井亜紀子氏への要望活動について
- ④ （公財）日本知的障害者福祉協会の訪問について
- ⑤ 群馬県知的障害者施設家族会連合会の退社について



報告がありました。

また、定款、理事会規則、施行細則の改正について

- ① 常任委員会の構成員を家族会に限るのはなぜか。得難い人材は家族会以外でも構成員とすべきではないか。
- ② 原則として、家族に限ると規定してはどうか。

との意見に対し、福間理事長から「理事は、道県連で人選するので、家族以外の方でも全く構わないが、施設利用家族会の全国組織である全施連の執行部たる常任委員会の構成は現に利用している家族に限るのが本来の姿であると思う。家族以外で得難い人材については、理事又は顧問としてご協力をお願いしていく。

との答弁があり、今後、条文等の追加修正作業を進め、理事会及び社員総会に諮るということで承認されました。

2023年度 各道県連活動報告 (請願活動、研修会や意見交換会などを抜粋)

道県連名	日時	活動内容	概要	要
北海道	5/28	研修会	テーマ：「親亡き後…その心配ごとを語り、準備し、託しませんか」 講師：（福）北ひろしま福祉会 看取り援助推進委員会 小林 悦子氏	
	10/5	勉強会	テーマ：いま一度、「施設（入所型）の必要性」「日中活動の充実」そして「地域生活支援拠点等」のことを考える 道北家族会の相談役施設長の講話 質疑応答及び意見交換	
神奈川県	7/8	講演会	テーマ：「当事者目線の福祉条例」及び「意思決定支援」について 講師：神奈川県	
	11/23	保護者間交流会	「虐待」をテーマに4グループ（28名）に分かれて保護者間交流会を開催	
	3/10	講演会	テーマ：『障害者権利条約「総括所見」から見る我が国の課題』 講師：東洋英和女学院大学名誉教授 石渡 和実氏	
岐阜県	4/21	面談	岐阜市会議員に面談	
	6/30	面談	きょうされん岐阜支部 事務局長と面談。全施連の理解。重度知的障がい者の施設・GHの課題の共有	
	10/6		岐阜市福祉部長、岐阜市障がい福祉課長面談。重度知的障害者施設の課題に対する理解を得る。	
	7/6	面談	岐阜市福祉部長、岐阜市障がい福祉課長面談。	
10/25	重度知的障害者施設の課題に対する理解を得る。			
兵庫県	12/13	交流会	会員同士の交流会を開催し、家族会解散や退会阻止の話し合いを実施	
	3/5	研修会	テーマ：「親なき前対策」 講師：行政書士 小森 智文氏	

道県連名	日 時	活動内容	概 要
島根県	9/4	政策提言	島根県社会福祉団体連絡協議会の構成団体として、島根県知事へ政策提言・要望書を提出、3/22に回答を得た
	9/23	研修会	「ほんとに必要？成年後見人制度」 講師：社会福祉士 阪田 健嗣 氏
	12/12	懇談会	島根県議会議員有志 16名と懇談会実施。人脈の構築、活動の内容説明、特に、医療費助成について理解を求めた。
	1/22	要望書提出	県知事へ要望書提出、3/22に回答を得た。 ・島根県福祉医療費助成制度の見直しについて ・新型コロナウイルス感染症対策について ・施設整備や職員の待遇改善について
	3/25	意見交換会	島根県障がい福祉課長、他と意見交換、知的障がい者が抱える諸問題について共有
福岡県	6/23	請願活動	福岡市（継続審議中）
	4/14 他	意見交換会	福祉協会と施設の医療体制充実と加入促進へのご協力 (4/14、10/12、2/19)
	4/16	学習会	各施設の現状報告と参加者全員による意見交換会
	5/24	意見交換会	福岡県障がい福祉課長と施設の医療体制について
	10/29	研修会	テーマ：「知的障害のある我が子に導かれて60年」 講師：八木 トミエ
	2/23	研修会	テーマ：「どうすれば終の棲家になれるか入所施設」 講師：北九州市立大学 小賀 久 教授
熊本県	7/25	請願活動	八代市、請願議決
	12/12	請願活動	山鹿市、陳情
	6/14	意見交換会	施設協会。施設との契約条件、障がい者支援施設の今後の方向性、意思決定ガイドライン、虐待について、福祉と「性」の向き合い方、65歳問題、グループホームから施設への入所などについて意見交換
	8/2	意見交換会	熊本県障がい支援課。「地域移行支援を進めるにあたっては知的障がい者の実情を考慮してもらいたい」との意見を申し出
	9/11	要望書提出	蒲島郁夫知事へ要望書（3点）を直接提出
	10/16	研修会	テーマ：「地域共生ホームへの道すじ、そして親の権利を考える」 講師：北九州市立大学 小賀 久 教授
	2/17	研修会	テーマ：「家庭内虐待防止について」 講師：（福）八代愛育会 古田 浩二統括施設長
鹿児島県	5/5	意見交換	鹿児島県知的障害者福祉協会顧問の自民党県議と意見交換し、請願に対し協力する旨の回答を得た
	11/20	研修会	テーマ：「知的障がいのある人の障がいの特性を踏まえた、これからの住まいと暮らし」 講師：北九州市立大学 小賀 久 教授
	1/21	研修会	家族・施設職員会研修会：「家族の思い」を発表

2024年度は、コロナ対策を取りつつ、対面やズーム（Zoom）による全施連、各道・県連の会合、研修会等も開催できると思われます。お互いに知恵を出し合い、自己表現・意思表示が難しい我が子、兄弟・姉妹等の人たちのためにも積極的な活動等をお願いいたします。

2024年度 全施連 役員名簿

理事長	副理事長	監事	常任委員
福間 廣明 (島根県知的障害者施設保護者会連合会)	(北海道・東北ブロック) 大矢 武久 (関東ブロック) (神奈川県知的障害者施設保護者会連合会)	岡本 保博 (大分県知的障害者施設家族会連合会) 川畑 岩夫 (鹿児島県知的障害者施設家族会連合会)	植村 規 (北海道・東北ブロック) (北海道 道北知的障がい児・者家族会)
	南 守 (西日本ブロック) (高知県知的障害者施設家族会連合会)		(関東ブロック)
	中村 俊久 (九州ブロック) (鹿児島県知的障害者施設家族会連合会)		(西日本ブロック)
			八木 トミエ (九州ブロック) (福岡県知的障害者施設家族会連合会)

2024年度 全施連 理事名簿

No.	道・県連名	氏名	No.	道・県連名	氏名
1	北海道 道北知的障がい児・者家族会	植村 規	9	山口県知的障害者施設家族会連合会	平尾 要
2	宮城県知的障害施設親の会連合会	遠藤 良一	10	高知県知的障害者施設家族会連合会	山本 純史
3	栃木県知的障害児(者)施設保護者会連絡協議会	室田 和利	11	福岡県知的障害者施設家族会連合会	八木 トミエ
4	神奈川県知的障害者施設保護者会連合会	大矢 武久	12	佐賀県知的障害者施設保護者会連合会	西田 修
5	愛知県知的障害者施設家族会連合会	助川 道教	13	熊本県知的障がい者施設家族会連合会	上村 忠
6	岐阜県知的障害者施設家族会連合会	寺島 章夫	14	大分県知的障害者施設家族会連合会	辻野 里行
7	兵庫県知的障害者施設家族会連合会	山口 英治	15	宮崎県知的障害者家族会連絡協議会	黒木 隼人
8	島根県知的障害者施設保護者会連合会	福間 廣明	16	鹿児島県知的障害者施設家族会連合会	中村 俊久

全施連・事務局所在地

〒650-0016

兵庫県神戸市中央区橋通3丁目4-1 神戸市立総合福祉センター2F

(電話 078-371-3930)・(FAX 078-371-3931)

事務局職員 上田 梨紗子

編集後記

- ① 全施連の活動の様子は、全施連ホームページ <https://zenshiren.mints.ne.jp/> で調べることができます。「全施連ニュース」や各道・県連発行の「会報」なども紹介されています。
- ② 全施連では、「障害者」の表記について、一部の道・県連においても「障がい者」と記載があることを考慮し、「障がい者」とします。ご了承ください。
- ③ 各道・県連の活動、投稿については、全施連事務局への報告・連絡・相談をお願いします。タイムリーな全施連ニュースの発行に努めてまいりたいと思います。写真の添付もお願いします。